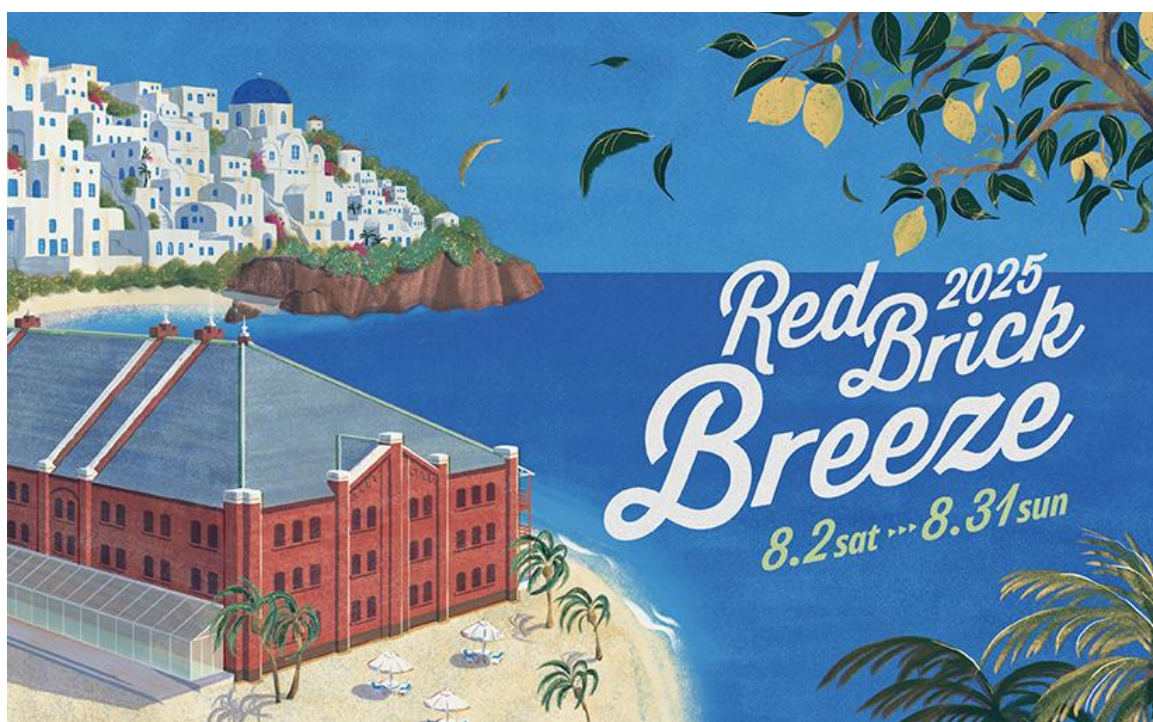

地中海の風を感じる人気リゾートエリアが横浜に出現！
爽やかな異国情緒が漂う空間とグルメで、海外旅行気分に
レッド ブリック ブリーズ
横浜赤レンガ倉庫『Red Brick Breeze 2025』
8 月 2 日(土)より計 30 日間、開催決定！

青と白の建物が美しいサントリーニ島と地中海の楽園イビサ島の雰囲気を入場無料で満喫

横浜赤レンガ倉庫では、2025 年 8 月 2 日（土）から 8 月 31 日（日）の計 30 日間、横浜赤レンガ倉庫イベント広場にて『Red Brick Breeze 2025』を開催します。※8 月 1 日（金）は 17：00 プレオープン



『Red Brick Breeze 2025』キービジュアル

本イベントは、横浜赤レンガ倉庫の海を望む開放的なロケーションを活かし、横浜にしながら“異国情緒を味わえる”ことをコンセプトに今年で 18 回目の開催を迎えます。昨年は約 70 万人（※1）にご来場いただき、横浜の“夏の風物詩”として県内・県外問わずご好評いただいています。

「アフリカ」や「タイ」「中南米」など毎年異なるテーマを設けており、今年はアメリカの大手旅行誌「コンデナスト・トラベラー」が発表した『2024 年に最も Google 検索された国ランキング』（※2）で上位 10 か国中 8 か国がランクインした「地中海」エリアをテーマとしています。リゾート感溢れる地中海エリアの景色を再現しているため、円安物価高の中でもご家族や親しい仲間と一緒に、手軽に海外旅行気分をお楽しみいただけます。

（※1）横浜赤レンガ倉庫 1・2 号館来館者数より算出 （※2）2024 年に Google での検索数が前年比で最も増加した上位 10 か国

<会場の見どころ>

■お手軽に海外旅行気分を！フォトジェニックな「地中海」をイメージした 2 つのエリア

太陽に照らされる地中海リゾートの世界観からナイトライフが充実するコンテンツまで、世代や時間を問わず、地中海気分をお楽しみいただけます。

①青と白の建物が美しい街並みを再現した「サントリーニ・エリア」

目にも鮮やかな青と白の建物が立ち並ぶギリシャのサントリーニ島をイメージした「サントリーニ・エリア」は、ハーブやオリーブ、レモンなどの植物で彩られ、爽やかな風が吹く地中海の“憧れ”ともいえる空間そのものをお楽しみいただけます。なんてことないふとした瞬間にも思わずシャッターを切りたくなること間違いなし！そんな“画になる”空間のなかで地中海グルメもご堪能いただけます。



会場全体イメージ

②ナイトライフに注目が集まるパーティーアイランドを再現した「イビサ・テラス」

“地中海の楽園”と呼ばれるスペインのイビサ島をイメージした「イビサ・テラス」では、ピンク色の家具やヤシの木などが並び、自由な熱気に包まれたイビサ島特有の高揚感もお楽しみいただけます。

海辺のリゾート感を演出する砂浜や、ひんやりとした水に足を浸して涼める足湯ならぬ「ASHIMIZU」（足水）を常設するほか、夜には幻想的な雰囲気にも包まれる会場のライトアップや DJ パフォーマンス（日にち限定）を実施し、ナイトクラブの聖地でありパーティーアイランドとしてナイトライフに注目が集まるイビサ島での過ごし方までも再現しています。また、海が臨める横浜赤レンガ倉庫ならではのロケーションで音楽やお酒を楽しめるソファ席やカウンター席を設けたカフェバーも併設します。



「イビサ・テラス」イメージ

■グルメでも異国を堪能！“地中海料理”や、夏にぴったりなジェラート専門店も登場

「サントリーニ・エリア」では、パエリアやブイヤベースなど定番の地中海料理を中心に 6 店舗が出店し、異国を感じるグルメもご堪能いただけます。地中海料理と合わせたいドリンクは、喉の渇きを潤すビールに加え、ワインやサングリアなどをご用意する予定です。暑い体を冷やすひんやりメニューもお楽しみに！



フードイメージ

<開催概要>

- ・期間：2025 年 8 月 2 日(土)～8 月 31 日(日) 計 30 日間
※雨天決行、荒天時は休業することがあります。 ※8 月 1 日(金) 17：00 プレオープン
- ・会場：横浜赤レンガ倉庫イベント広場（〒231-0001 神奈川県横浜市中区新港 1-1）
- ・時間：11：00～22：00（飲食 L.O. 21：30）
- ・入場料：無料 ※飲食、物販代等は別途
- ・主催：横浜赤レンガ倉庫（株式会社横浜赤レンガ・公益財団法人横浜市芸術文化振興財団）
- ・後援：横浜市、駐日ギリシャ大使館
- ・特設サイト：<https://www.yokohama-akarenga.jp/brickjournal/detail/144>

<SDGs への取り組み>

「Red Brick Breeze 2025」では、SDGs への取り組みを積極的に行なっています。

◎プラスチック製品の削減：

環境に配慮したカトラリー類や包装材を一部使用し、プラスチック削減に取り組めます。

◎GTL 燃料：

会場内の発電機の燃料は天然ガスから精製された GTL 燃料（軽油代替燃料）で、従来の軽油を使用した場合より CO2 を約 8.5%削減。

◎Fry to Fly Project：

国内資源循環による脱炭素社会実現に向けたプロジェクト「Fry to Fly Project」に協力。イベントで出た廃食用油を持続可能な航空燃料製造に提供。従来の航空燃料に比べ、CO2 排出量を約 80%削減できます。

◎再生可能エネルギーの地産地消：

脱炭素化の実現に向けた再エネ普及拡大の一環として、横浜市内の家庭に設置されている太陽光発電設備の余剰電力（卒 FIT）を活用した取り組みを推進。イベントを含む、横浜赤レンガ倉庫で使用する電力の約 2 割相当を賄い、年間約 440 トンの CO2 排出量を削減できる見込みです。

※画像はイメージです。

※【注意】本リリースに記載されている内容は、変更になる可能性があります。7 月初旬頃に詳細情報の発表を予定しております。

<本件に関するメディア向けのお問い合わせ先>

横浜赤レンガ倉庫 PR 事務局（㈱プラチナム内）担当：本間・白駒・岡本・菅野・福田
Tel：03-5572-6072 FAX：03-5572-6075 Email: akarenga_pr@vectorinc.co.jp

<本件に関する一般向けのお問い合わせ先>

横浜赤レンガ倉庫 2 号館インフォメーション 電話：045-227-2002(代) ※受付時間：11：00～20：00